



福岡医発第 2354 号 (地)
平成 27 年 12 月 5 日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会長 松 田 峻一良
(公 印 省 略)

地域医療構想策定に関する意識調査について

去る 10 月 26 日から 12 月 1 日にかけて、県内の 13 医療圏において、「第 1 回地域医療構想調整会議」が開催されました。本調整会議においては、県医療指導課より、「2025 年必要病床数の推計値」が示され、必要病床数の推計値を中心とした議論が行われましたが、本来であれば、現状の医療提供体制や将来の傷病構造などの資料に基づき議論が行われるべきであると考えております。

本会としては、12 月 22 日開催予定の「第 2 回地域医療構想策定会議」において、第 2 回調整会議の議事資料等を提示するとともに、「①2025 年必要病床数の推計値、②構想区域間の患者流出入の取り扱い、③慢性期における療養病床入院受療率の目標設定」について、県医師会としての考え方を示すこととしております。

そこで、第 2 回策定会議の資料とすることを目的とした標記調査を下記要領のとおり実施することといたしました。

つきましては、別添の調査票をご記入いただき、貴会理事会においてご協議の上、**12 月 18 日 (金) まで**に本会地域医療課宛メール (fpma-chiiki@fukuoka.med.or.jp) にてご回答くださいますようお願い申し上げます。

なお、

- 1) 本調査は、定性的な調査ですので、客観的なデータに基づいてご回答いただく必要はございません。
- 2) 貴会理事会の開催の都合上、12 月 18 日までにご回答いただけない場合は、事前に下記の事務局担当者までご連絡くださいますようお願いいたします。
- 3) ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

地域医療構想策定に関する意識調査 実施要領

1. 本調査の目的

本調査は、福岡県における地域医療構想を策定するにあたり、県が示した「2025年必要病床数の推計値」と現在の医療提供体制のギャップについて課題を抽出し、本調査結果を第2回地域医療構想策定会議の資料とすることを目的としています。

2. 調査票の種類と調査の趣旨

調査票の種類	調査の趣旨
① 意識調査 1	地域医療構想では、慢性期について、慢性期病床、介護施設、訪問診療（在宅医療）の3つで対応することが想定されていますが、推計値に示された量を確保できるかなどについてお尋ねします。 また、回復期について、地域包括ケア体制を構築するために、地域包括ケア病床を中心とした回復期病床を充実させることが目的とされており、これは急性期病床の相当数を回復期に転換することを意味しますが、推計値に示された量を確保できるかなどについてお尋ねします。
② 意識調査 2	各医療圏では、過去5年間で病床（許可病床数）が減少していますが、その理由についてお尋ねします。

3. 本件に関する問い合わせ先

福岡県医師会地域医療課

担当：吉武・浜本・佐藤・厚地 TEL：092-431-4564 FAX：092-411-6858

E-mail：fpma-chiiki@fukuoka.med.or.jp

〒812-8551 福岡市博多区博多駅南2丁目9番30号

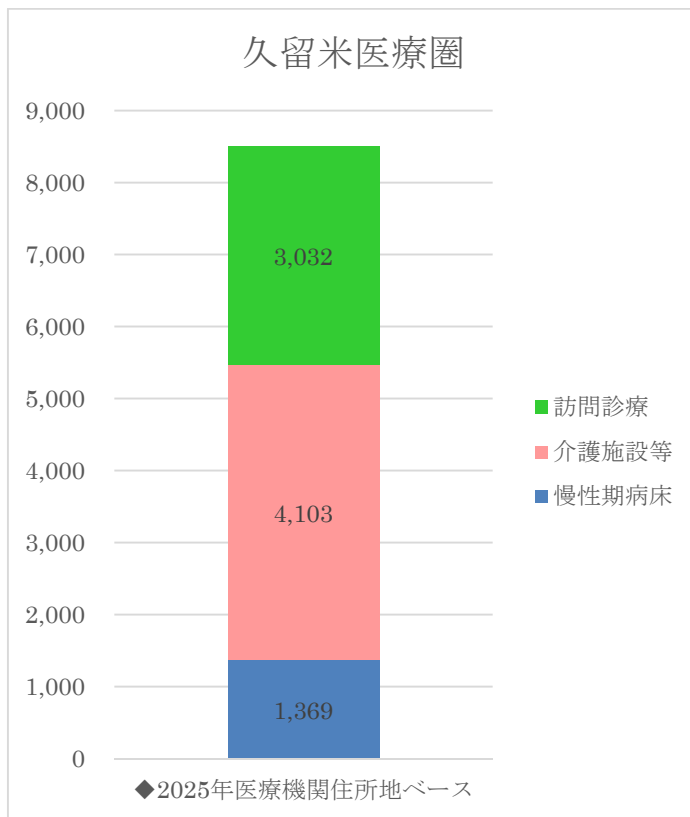
地域医療構想に関する意見調査 I

I. 慢性期について

地域医療構想では、慢性期について慢性期病床、介護施設、訪問診療（在宅医療）の3つで対応することが想定されています。下図は貴二次医療圏における推計値を示したものです。これについて貴会のご意見を伺います。

1. この推計値に示した量の訪問診療を確保することは可能でしょうか？

- a. 難しい
- b. どちらかと言えば難しい
- c. どちらかと言えば可能
- d. 可能
- e. わからない



1-1 上記で「難しい」、「どちらかと言えば難しい」の場合、その理由はなんですか。
当てはまるものすべてに○をつけてください。

- a. 訪問診療をする医師の不足
- b. 訪問看護ステーションの不足
- c. 診療報酬上の問題
- d. 家族の介護力が不足している
- e. 患者の経済的負担が大きくなる
- f. 患者および家族が希望しない
- g. その他（

）

2. この推計値に示した量の介護施設を確保することは可能でしょうか？

- a. 難しい
- b. どちらかと言えば難しい
- c. どちらかと言えば可能
- d. 可能
- e. わからない

2－1 上記で「難しい」、「どちらかと言えば難しい」の場合、その理由はなんですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- a. 介護保険料の負担が大きくなる
- b. 介護職の確保が難しい
- c. 経営的に難しい
- d. 患者および家族が希望しない
- e. その他（ ）

3. 現在、療養病床については 20：1 を基本とするという意見がありますが、貴会のご意見はいかがでしょう？

- a. 賛成
- b. 反対
- c. わからない

3－1 上記で「賛成」の場合、その理由はなんですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- a. 経営が安定する
- b. 医療の質が向上する
- c. 在宅復帰が容易になる
- d. その他（ ）

3－2 上記で「反対」の場合、その理由はなんですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- a. 経営が厳しくなる
- b. 看護師の確保が難しい
- c. 看護補助職の確保が難しい
- d. その他（ ）

4. 現在、国の「療養病床のあり方に関する検討委員会」では療養病床の一部を施設内住居に転換し、管理者を看護師としたうえで外付けで医療を提供する（例えば、併設の療養病床の医師が医療を提供）という「新類型」の導入可能性が議論されています。このような「新類型」の制度の導入に関する貴会のご意見をお聞かせください。

- a. 賛成
- b. 反対
- c. わからない

4－1 上記で「賛成」の場合、その理由はなんですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- a. 経営が安定する
- b. 看護師の確保が容易になる
- c. 看護補助職の確保が容易になる
- d. 地域のニーズに応えることができる
- e. その他（ ）

4－2 上記で「反対」の場合、その理由はなんですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- a. 経営が厳しくなる
- b. 看護師の確保が難しい
- c. 看護補助職の確保が難しい
- d. 患者及び家族が希望しない
- e. 一部とはいえ、病院でなくなることに抵抗がある。
- f. 質が担保出来ない
- g. その他（ ）

5 仮に「新類型」が導入された場合、貴会が医療をされている二次医療圏ではそのような「定数」は増加するでしょうか？

- a. 増加する
- b. 増加しない
- c. わからない

5－1 上記で「増加する」の場合、その理由はなんですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- a. 経営が安定する
- b. 看護師の確保が容易になる
- c. 看護補助職の確保が容易になる
- d. 地域のニーズに応えることができる
- e. その他（ ）

5－2 上記で「増加しない」の場合、その理由はなんですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

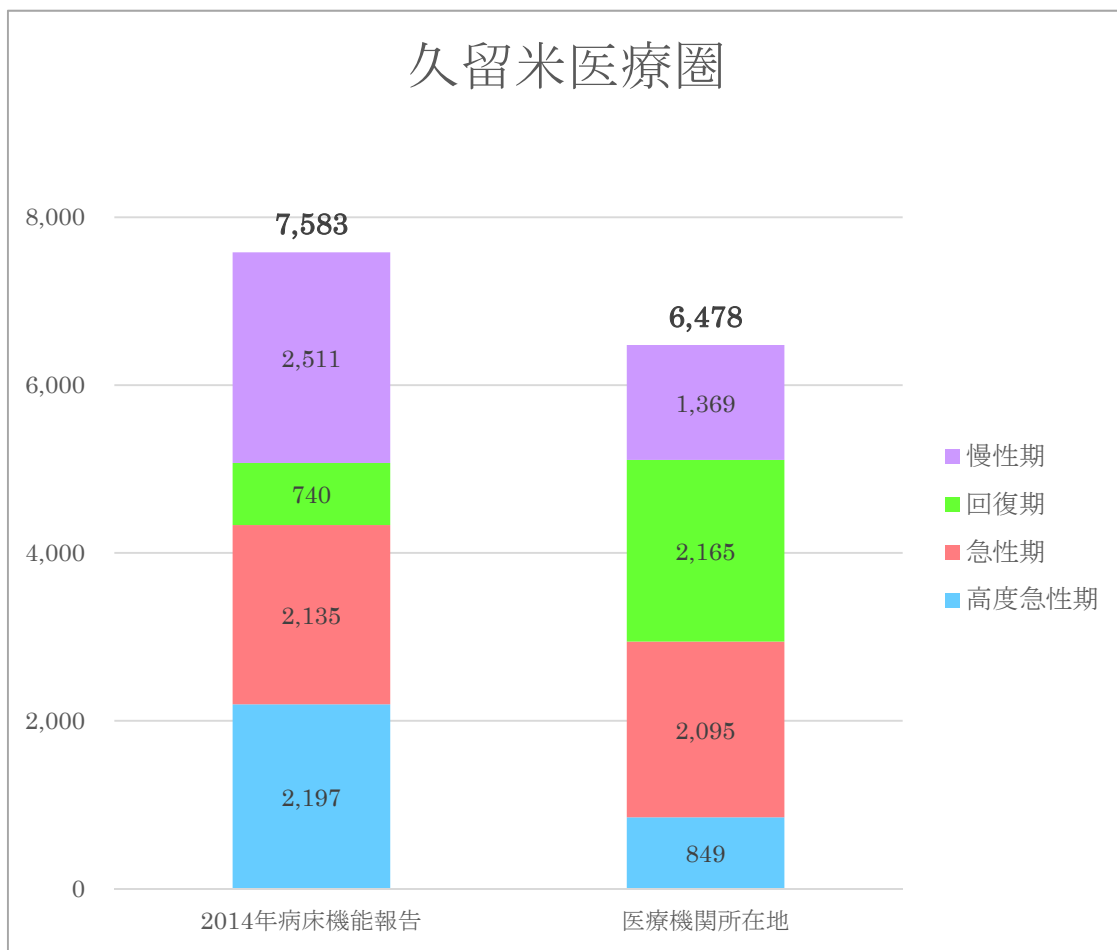
- a. 経営が厳しくなる
- b. 看護師の確保が難しい
- c. 看護補助職の確保が難しい
- d. 患者及び家族が希望しない
- e. 一部とはいえ、病院でなくなることに抵抗がある。
- f. 質が担保出来ない
- g. その他（ ）

Ⅱ. 回復期について

地域医療構想では、地域包括ケア体制を構築するために、地域包括ケア病床を中心とした回復期病床を充実させることが目的とされています。これは急性期病床の相当数を回復期に転換することを意味します。下図は貴二次医療圏における推計値を示したものです。これについて貴会のご意見を伺います。

6. この推計値に示した量の急性期から回復期への病床転換を行うことは可能でしょうか？

- a. 難しい
- b. どちらかと言えば難しい
- c. どちらかと言えば可能
- d. 可能
- e. わからない



6-1 上記で「難しい」、「どちらかと言えば難しい」の場合、その理由はなんですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- a. 経営的に厳しくなる
- b. 看護師の確保が難しい
- c. 地域包括ケア病床の基準が厳しい
- d. 在宅の受け皿確保が難しい
- e. 患者および家族が希望しない
- f. その他 ()

7. 貴会の所属する二次医療圏での回復期病床の必要性をどのようにお考えですか？

- a. 高い
- b. どちらかと言えば高い
- c. 現状で充足している
- d. どちらかと言えば低い
- e. 低い
- f. わからない

8. 病診連携や医療介護連携を推進するために地域包括ケア病床を持つ施設として、貴会はどうのような病院が望ましいとお考えですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- a. 一般病床（DPC、7:1、10:1）をもつ中小民間病院
- b. 一般病床（DPC、7:1、10:1）をもつ大規模民間病院
- c. 一般病床（13:1、15:1）をもつ中小民間病院
- d. 一般病床（13:1、15:1）をもつ大規模民間病院
- e. 一般病床（DPC、7:1、10:1）をもつ中小公的病院
- f. 一般病床（DPC、7:1、10:1）をもつ大規模公的病院
- g. 一般病床（13:1、15:1）をもつ中小公的病院
- h. 一般病床（13:1、15:1）をもつ大規模公的病院
- i. わからない

Ⅲ. 全般的事項

9. 地域医療構想に関してご意見がありましたらお教えてください。

地域医療構想に関する意見調査Ⅱ

貴二次医療圏では過去５年で以下のように病床数が減少しています。その理由について貴会のご見識をお教えてください。

久留米	病院	診療所
2009 年	7,328	1,506
2013 年	7,119	1,323
減少数	-209	-183

I. 病院

1. 病院の病床数が減少した理由として貴会が考えられる理由はなんですか？当てはまるものすべてに○をつけてください。

- a. 後継者の不在
- b. 看護師の不足
- c. 耐震対応やスプリンクラー設置などの投資が難しかった
- d. 患者数の減少
- e. その他（ ）

2. 貴会の所属する二次医療圏では今後病院の病床数はどのように変化するとお考えですか？

- a. 増加する
- b. 変わらない
- c. 減少する
- d. わからない

2－1. 上記で「減少する」とお答えになった医師会にお聞きします。その理由はなんだと思われますか？当てはまるものすべてに○をつけてください。

- a. 後継者の不在
- b. 看護師の不足
- c. 耐震対応やスプリンクラー設置などの投資が難しかった
- d. 患者数の減少
- e. その他（ ）

2－2. 上記で「減少する」とお答えになった医師会にお聞きします。その場合、地域医療にどのような影響があると思われますか？当てはまるものすべてに○をつけてください。

- a. 特にない
- b. 一般病院からの退院患者の受け皿が不足する

- c. 介護サービス事業者の負担が上がる
- d. 行き場のない高齢者が増加する
- e. 住民の医療へのアクセスが悪くなる
- f. その他（ ）

Ⅱ. 診療所

3. 診療所の病床数が減少した理由として貴会が考えられる理由はなんですか？当てはまるものすべてに○をつけてください。

- a. 後継者の不在
- b. 看護師の不足
- c. 耐震対応やスプリンクラー設置などの投資が難しかった
- d. 患者数の減少
- e. その他（ ）

4. 貴会の所属する二次医療圏では今後診療所の病床数はどのように変化するとお考えですか？

- a. 増加する
- b. 変わらない
- c. 減少する
- d. わからない

4-1. 上記で「減少する」とお答えになった医師会にお聞きします。その理由はなんだと思われますか？当てはまるものすべてに○をつけてください。

- a. 後継者の不在
- b. 看護師の不足
- c. 耐震対応やスプリンクラー設置などの投資が難しかった
- d. 患者数の減少
- e. その他（ ）

4-2. 上記で「減少する」とお答えになった医師会にお聞きします。その場合、地域医療にどのような影響があると思われますか？当てはまるものすべてに○をつけてください。

- a. 特にない
- b. 一般病院からの退院患者の受け皿が不足する
- c. 介護サービス事業者の負担が上がる
- d. 行き場のない高齢者が増加する
- e. 住民の医療へのアクセスが悪くなる
- f. その他（ ）